

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	情報提供の充実						掲載ページ		
							91		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		4,402	千円	3,700	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価		
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	安心して子どもを産み育てることができるように、ホームページ、情報誌の内容、情報提供方法の充実に努めます。子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できる仕組みを構築し、子育ての不安や悩みの軽減を図ります。				活動実績	情報誌「こそだて情報」を平成23年7月に51,000冊発行し（その後600冊増刷）、保育所、幼稚園等や、母子健康手帳交付時に配付しました。また、ホームページ「子育てマップ北九州」で情報を提供しました。	
活動計画	ホームページ「子育てマップ北九州」での情報提供を行い、平成23年7月には子育て情報誌「こそだて情報」を作成・発行します。							
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	子育てマップのアクセス件数		739,006 件	739,006 件	667,474 件 90.3 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	より多くの市民に、必要とされる子育てに関する情報が届いているかを図る活動指標として設定します。 (最終目標と最終年度)							
						順調	順調	
(最終目標と最終年度)					やや遅れ 遅れ			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	1 平成23年7月に情報誌「こそだて情報」を51,000冊発行し（その後600冊増刷）、保育所、幼稚園、親子ふれあいルーム、子どもの館、子育てふれあい交流プラザ、医師会、コンビニエンスストア等を通じ、また、母子健康手帳交付時に配付しました。 2 子育てに関するホームページ「子育てマップ北九州」で子どもの成長に応じた情報を提供するとともに、希望者に毎月「子育て情報メール」の無料配信を行いました。 「子育ての悩みや不安の解消」に向けた情報を保護者にタイムリーに提供できる点で高い効果があります。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	情報誌「こそだて情報」作成・配布にあたっては競争入札を行い、ホームページ「子育てマップ北九州」では指定管理者制度を導入し、経済的・効率的な情報提供に努めています。市の子育てに関する施策や施設の情報の取りまとめ等については、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
24年度においても、子育て中の人や、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、情報誌「こそだて情報」やホームページ「子育てマップ北九州」を活用した情報提供の継続実施に努めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	保育所・幼稚園情報の積極的な提供						掲載ページ
							91
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		- 千円	- 千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	保育課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	市民が保育所を選択する際の一助となるよう、市ホームページの充実を図ります。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	ホームページによる各保育所の入所状況の情報提供を行います。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】		
	ホームページの更新回数	12 回	12 回	12 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	平成21年度より、市内の各保育所の受入状況をホームページで公開しており、毎月更新することを継続します。 (最終目標と最終年度)			100.0 %			
(最終目標と最終年度)				順調			

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	計画どおりに毎月更新して、情報提供を行っています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか、また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	ホームページでの情報提供は低いコストでより高い効果が期待でき、これ以上のコスト削減は困難であると考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
今後も継続的に市内各保育所の受入状況を毎月更新していきます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	保育所・幼稚園情報の積極的な提供						掲載ページ
							91
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	子ども家庭局
		- 千円	- 千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	子ども家庭政策課

【Plan】計画				【Do】実施	【Check】評価
目的	何を（誰を）どのような状態にしたのか	市民に愛され親しまれる保育所・幼稚園となるため、また、市民が保育所・幼稚園を選択する際の一助となるよう、ホームページの充実や、ガイドブックの作成などにより、積極的に、保育所・幼稚園の情報提供に取り組みます。さらに、タイムリーな情報提供を充実させるため、保育所、幼稚園に通う子どもや保護者向けの情報を、保育所・幼稚園を通して提供します。			活動実績 情報誌「こそだて情報」を平成23年7月に発行し、市内認可保育所・幼稚園を通じて在籍全児童に配付しました。
活動計画	保育所、幼稚園に通う子どもや保護者向けの情報を、保育所・幼稚園を通して提供します。（H23.7「こそだて情報」を認可保育所・幼稚園在籍児童に配布）				
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）	前年度実績	目標	実績（達成率）	【活動の状況】
	情報提供を行った保育所・幼稚園の箇所数	262 件	262 件	262 件	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保育所・幼稚園を通じた情報提供を行うことが、タイムリーな情報提供につながるため、活動指標として掲げました。市内のすべての認可保育所（園）、幼稚園を通じた情報提供を行います。 （最終目標と最終年度）市内の全ての認可保育所（園）、幼稚園への情報提供（26年度）			100.0 %	
	（最終目標と最終年度）				順調 やや遅れ 遅れ

【Check】評価(分析)		
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。 保育所・幼稚園に通う全児童に「こそだて情報」を配布することにより、保護者に子どもの成長や年齢に応じた情報をタイムリーに提供することができています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。 情報誌「こそだて情報」作成・配布にあたっては競争入札を行い、ホームページ「子育てマップ北九州」では指定管理者制度を導入し、経済的・効率的な情報提供に努めています。市の子育てに関する施策や施設の情報の取りまとめ等については、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
24年度においても、子育て中の保護者が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、保育所・幼稚園を通じた情報提供の継続実施に努めます。

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	市政だより、市政テレビ、ホームページ等による子育てに関する情報提供						掲載ページ
							91
コスト	事業費	平成23年度執行額	平成24年度予算額	政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	広報室
		- 千円	- 千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	広報課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	市政だより、市政テレビ、ホームページなどを活用し、子育てに関する情報を提供します。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	市政だより、市政テレビ、ホームページなどを活用し、子育てに関する情報を発信						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	市政だより「特集」掲載回数		4 回	2 回	2 回 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	全世帯（約35万世帯）に配布している市政だよりの「特集」で取り上げることは、広報の効果が高いと考えられるため活動指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）						
	市政テレビ、ラジオ放送回数		8 回	8 回	9 回 112.5 %	順調 やや遅れ 遅れ	順調
自主広報として市政テレビ、ラジオで放送することは、伝えたい情報を多くの市民にわかりやすく迅速に伝えることができ、広報の効果が高いと考えられるため活動指標として設定しました。 （最終目標と最終年度）							

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度は、市政テレビでは「赤ちゃんの駅」、「保育サービスの向上」など子育てに関する番組を9回放送しました。 市政だよりでは、「特集」で「子どもの読書」、「夢は世界へ！大きく羽ばたけ子どもたち」の記事を掲載したほか、各課の実施する子育てに関する事業の情報を年間を通して掲載しています。 ホームページでは、子育てに関する情報を年間を通して掲載しています。また、トップページのトピックス・お知らせ、メールマガジンに「子ども手当」「子どもまつり」など子育てに関する情報を適宜掲載しています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を」得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	広報室では、市政情報について、市政だより、市政テレビ・ラジオ、ホームページ等による総合広報を実施しており、子育てに関する情報提供にこれらを活用することは、経済的にも効果的です。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること

「元気発進！子どもプラン」事業評価票（平成23年度実績評価）

事業名	学校開放週間						掲載ページ		
							91		
コスト	事業費	平成23年度執行額		平成24年度予算額		政策分野	安心して生み育てることができる環境づくり	担当局	教育委員会
		0	千円	0	千円	施策名	子育ての悩みや不安への対応	担当課	指導企画課

【Plan】計画				【Do】実施		【Check】評価	
目的	何を（誰を）どのような状態にしたいのか	学校教育に対する理解を深めるとともに、学校の情報を市民と共有することを目的とします。		活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動計画	本事業は、保護者や地域の方々の学校教育の理解を深めるとともに、学校情報を市民と共有するために、重要な事業であると考えています。今後も、市の直接実施で一層の推進を図っていきます。						
活動指標	指標（数値化できない場合は、活動内容を文章で記載） （上段：指標名 下段：指標の考え方）		前年度実績	目標	実績（達成率）		【活動の状況】
	学校開放週間来校者数		84,672 人	89,000 人	91,067 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	学校教育に対する理解を深めるとともに、学校の情報を市民と共有することを目的に、さらに多くの保護者や地域の方に来校してもらうよう一層の推進を図ります。 （最終目標と最終年度）平成25年度 90,000人 H20年度比+2%				102.3 %		
	学校開放週間実施校数		212 校	212 校	212 校	順調 やや遅れ	大変順調
学校教育に対する理解を深めるとともに、学校の情報を市民と共有することを目的に、さらに多くの保護者や地域の方に来校してもらうよう一層の推進を図ります。 （最終目標と最終年度）平成25年度 212校 市内全校・園実施		100.0 %			遅れ		

【Check】評価(分析)			
分析及び課題の整理	【活動の状況】を踏まえた分析	活動は予定通りだったのか、活動は有効だったのかなど、分析し課題を整理する。また、影響を及ぼした外的要因の分析も行う。	平成23年度は、当初計画どおり全ての学校で学校開放週間（平成23年11月1日～7日）を実施しました。来校者数については目標値を大きく上回り、日常の教育活動に対する理解を深めてもらうよい機会となっています。平成23年度の校長へのアンケート調査によると、平成15年度から実施している「学校開放週間」の目的や意義が年々保護者や地域に定着してきており、日常の教育活動を見ることが出来ることに対して、保護者や地域の評価が高いことがわかっています。
	「経済性」「効率性」の分析	「同じ成果をより低いコストで」「同じコストでより高い成果を得られないか。また、民間活力導入による「経済性・効率性」の向上はできないか。	学校・園における通常の教育現場を保護者や市民が自由に見学できる日を全校一斉に実施することで全市的なPRにつなげており、コストをかけずに学校教育の情報発信、学校・地域・家庭との連携に高い効果を得ていると考えます。

【Action】 目的実現のために平成24年度以降に実施すること
本事業は、保護者や地域の方々の学校教育の理解を深めるとともに、学校情報を市民と共有するために、重要な事業であると考えています。今後も、ホームページなどによる広報を実施するなど一層の推進を図っていきます。